

# 今やりたい！ 災害時の「多様」に気づき 地域の備えに+α

第14回静岡県内外の災害ボランティアによる  
救援活動のための図上訓練

# 1日目

災害時の事例から学ぶ  
「多様」な○○○

# 1日目のねらいと流れ

- 災害時には「多様」なニーズが発生し、その支援を行うためには「多様」な連携、立場（所属）、社会資源、視点、取り組み等が必要となります。
- このワークでは、被災当事者、支援者等の関係者から実際の事例を伺い、災害時の「多様」の必要性を学びます。

14：00～ 事例報告

15：00～ 休憩・移動

15：15～ ワーク①

17：00 1日目ワーク終了 → 移動・休憩 → 交流会

# 1日目の事例報告

- 熊本県上益城郡嘉島町役場  
町民課戸籍係長 園田 ひろみ 氏
- 仙台市男女共同参画推進センター  
IL・ソーラ仙台 管理事業課長 荒井 康子 氏
- (認特活) 茨城NPOセンター・ commons  
センター長 横田 能洋 氏

以上の3名の方から、実践・経験してきた事例の報告を伺い、災害時に必要と感じる(た)「多様」を知ることから始めます。

# ワーク①

「多様」って

なんだろう？

# おさらい

- 災害時には「多様」なニーズが発生し、その支援を行うためには「多様」な連携、立場（所属）、社会資源、視点、取り組み等が必要となります。
- このワークでは、被災当事者、支援者等の関係者から実際の事例を伺い、災害時の「多様」の必要性を学びます。



**「多様」とは何か？どんなことか？に  
気づいていきたいと思います。**

# ワークの前に

- 各グループにはグループファシリテーターがいます。名札に目印として赤い丸シールが貼ってあります。
- グループファシリテーターの方はグループ内の進行をお願いします。  
(タイムキープは司会で行います。)
- なお、グループファシリテーターの方もワークにご参加ください。
- 付箋等の文房具が不足の場合には、お近くのワーキンググループにお声掛けください。

# グループ内で自己紹介

今日初めて会った方も、以前から知り合いの方も、2日間グループワークの仲間です。

- 各グループで自己紹介（所属団体と氏名）と併せて、先ほど「事例報告」の中で、印象に残ったこと、気づいたことをお話し下さい。
- お一人1分以内でお願いします。

— 7分間 —

# まずは…

各々で災害時に考えるべき「多様」のキーワードを付箋に書いていきます。  
カテゴリは次のとおりです。

- ① 多様な 人・被災者 (属性・状況・環境)
- ② 多様な 困りごと (こんなことに困ると思う)
- ③ 多様な 支援 (制度・支援者・連携・ネットワーク)
- ④ その他

— 5分間 —

# お願い

- 1ワードにつき、1枚の付箋を使用してください。
- 先ほど聞いた事例はもちろんのこと、県内プレイヤーの方は事前課題で記入してきた「多様から連想するキーワード」も参照してください。
- 不正解はありませんので、出来るだけ多くの意見を書いてください。
- この個人ワークのあとで、各々が考えたキーワードをグループ内で共有します。

# 次は…

## グループ内で意見を共有します。

以下のカテゴリに分けて一人一人、個人ワークで思いついたキーワードを紹介してください。

- ① 多様な 人・被災者 (属性・状況・環境)
- ② 多様な 困りごと (こんなことに困ると思う)
- ③ 多様な 支援 (制度・支援者・連携・ネットワーク)
- ④ その他

— 15分間 —

# お願い

- 模造紙に付箋を貼って行ってください。同じような意見は近くに貼ってください。
- 各々から出た意見を否定するような発言は控えてください。
- 皆さんが考えたキーワードに正解・不正解はありません。
- ファシリテーターを中心に、全員が発言できるように進行にご協力をお願いいたします。

# 他のグループは？

他のグループではどんなキーワードが出たか  
気になりますよね？

ここで、グループ内で、

- ① どのグループもきつと書いてあるだろう
- ② 他のグループはきつと書いていない

と思うキーワードを1つ選んでください。

# お手元にあるワークシートに

選んだ2つのキーワードを大きく、見えるように書いてください。

このキーワードはみんな書いたよね？！

どのグループもきっと書いてあるだろうキーワードはこれだ！！

こんなキーワード思いつくのは私たちしかない？！

他のグループはきっと書いていないキーワードはこれだ！！

— 3分間 —

決まりましたか？

各グループで選んだ  
キーワード発表！

ここで...

# 事例発表者の方から コメント

# 続いて…

他の人・グループの発表を聞いて、

- 「これもキーワードだ！」
- 「あのキーワード忘れてた！」
- 「こんなのはどうだろう？」

などなど、自由に意見を出し合って、「多様」のキーワードを出来るだけ多く出してみましょう。

— 10分間 —

# 皆さんの心に残ったのは？

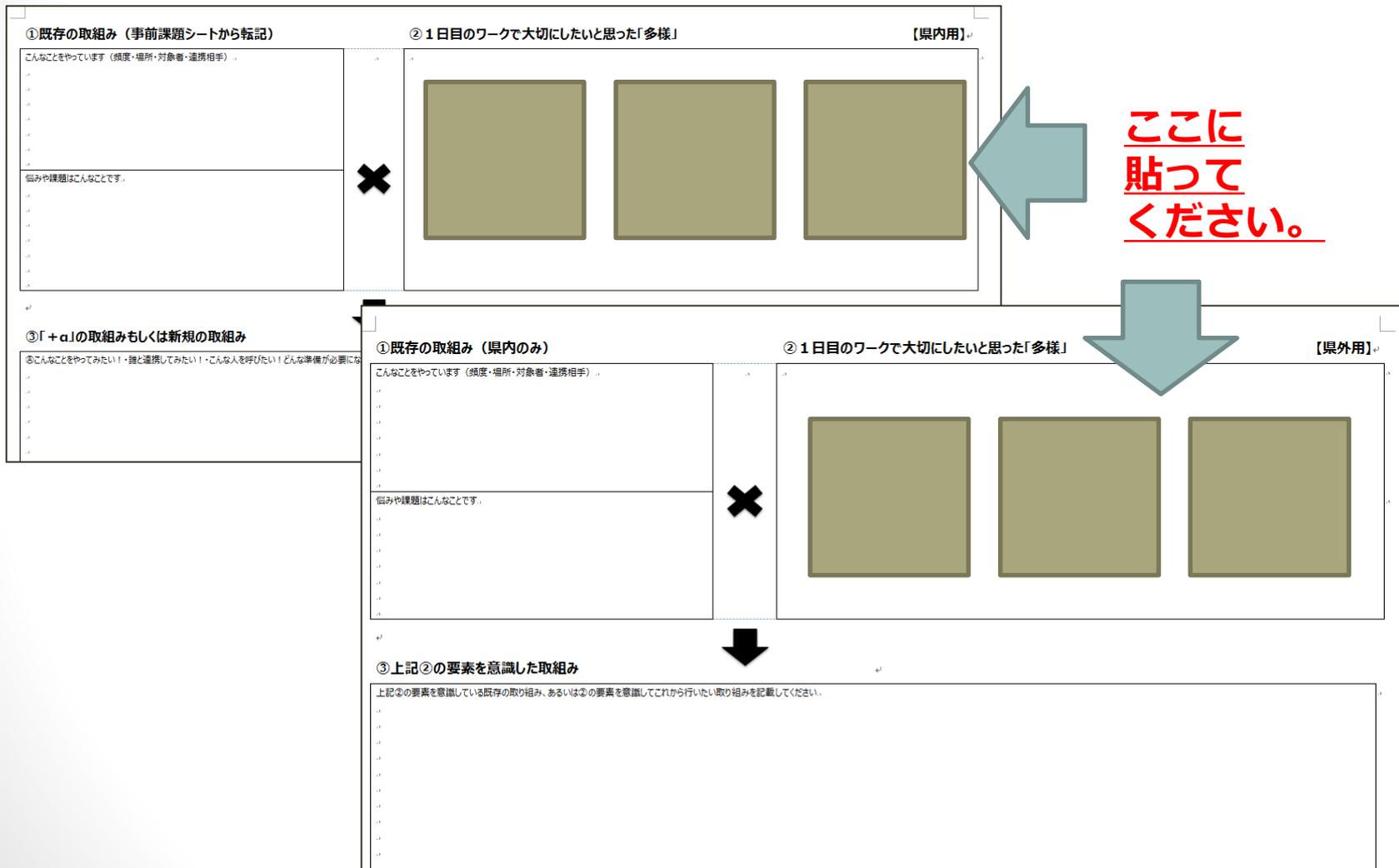
今までのワークを通して、自分が、

- 大切にしたい 「多様」
- 考えてもみなかった 「多様」
- 気になった 「多様」
- 新たに気づいた 「多様」

などを、3つ付箋に書いてワークシートに貼ってください。

— 5分間 —

# ワークシートを使って…



# 他の人は…？

- 選んだキーワードをグループ内で共有しましょう。
- 一人ひとり、「キーワード」と「それを選んだ理由」をお一人2分程度で紹介してみてください。
- 時間の都合上、3つすべてを紹介できなくても構いません。

— 15分間 —

# 災害時の「多様」って

## 1日目のワークをまとめてみましょう。

- 「多様」といっても被災者・困りごと・支援ごとに色々な人や内容、団体等があることが確認できたかと思います。
- 自分一人では思いつかないような視点を様々な人が持っており、それぞれに「多様」な得意分野があることも想像できたか  
と思います

# 災害時の「多様」って

- 災害時の多様な被災者や困りごとに対応するためには、「多様」な方々と災害時にスムーズに連携できることが重要です。
- そのためには、日ごろ（平時）から顔の見える関係や話し合える関係、一緒に考えたり、行動できたりする関係を築いておくことが大切だと思います。
- 今日学んだような「多様」を日ごろから想定し、連携できるネットワークを広げていくことが備えになるのではないのでしょうか。

# 1日目お疲れ様でした！

- 今書いたキーワードをもとに、明日は自分が地域の備えに「+α」のアクションが出来るような方法を考えます！
- この後の交流会では一人でも多くの人と顔見知りになったり、名刺交換をしたりしてください。
- 事前課題用紙をお持ちでない人は会場後方に置いてありますので、ご自由にお持ちください。

**明日のワーク②も、皆様のご協力を  
よろしくお願いいたします！！**